



チャレンジ！ICT野宿

～Society5.0時代を生き抜く、“リアル”なバーチャル活用スキルを身につけよう！～

実施期間：令和6年10月19日(土)～20日(日)

目的・趣旨

Society5.0時代をむかえ、膨大な情報から主体的に有益な情報を見極め、それを活用する能力が必要となる。ICT技術を活用した野宿を実践することにより、リアルとバーチャルを融合させた新たな価値の創造を体験し、これからの時代を生き抜く力を身につけることを目的とする。具体的には必要最低限の物資を使用してテントを設営したり、食事を作ったりするキャンプを実施する。その中で、与えられた物資をどのように使用するかは、生成AIなどのICT技術を活用して情報収集を行いながら、より快適な生活を目指す。

事業概要

- 【参加者数】 10名
- 【実施内容】 デジタル・シティズンシップの養成及び生成AIの活用に関する研修
ICTを活用した情報収集と野宿の実践
- 【外部指導者】 (講師) 中野 充 氏 (新潟青陵大学 准教授)
(法人ボランティア) 6名

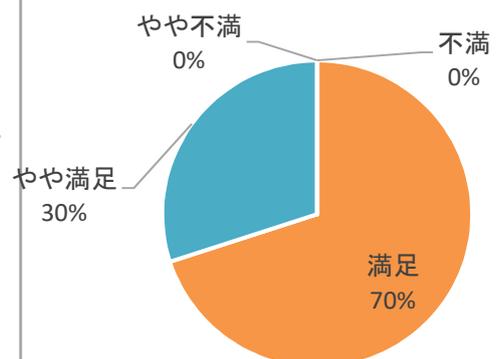
事業のポイント

- 文部科学省「教育進化のための改革ビジョン」(令和4年2月)の4つの柱のひとつ、「リアル×デジタルの最適な組合せによる価値創造的な学びの推進」に基づいた新規開発事業
- 指導者から「教えられること」を限りなく省いた「最先端の主体性を引き出すキャンプ」

成果

- 参加者の事業全体をとおした満足度は、「満足」「やや満足」を合わせて100%となった。
- 最初にICT活用に関する心構え(デジタル・シティズンシップ)や生成AIの活用方法を学んだことで、スムーズに実践に移行することができた。
- テントの作り方を調べ、それをもとに立てる場所や形を工夫する様子がみられ、情報を活用しながら実践から応用までを主体的に行っていたことがうかがえる。

参加者満足度



事業の様子



開会式



ICT活用に関する研修



実際の情報収集

私は小学生です。小中学生5人でキャンプをします。ブルーシートを使ってテントを作る方法を教えてください。設営時間は30分です。

メモリを更新しました

ブルーシートを使って簡単にテントを作る方法を紹介します。設営時間が30分なので、なるべくシンプルな方法にしますね。

必要なもの：

- 大きなブルーシート（2m x 3m 以上が望ましい）
- ロープ（3mくらいの長さが数本）
- ベグまたは重り用の石
- 木やポール2本（ロープを結びつけるため）
- もしあればテント用のポールや支えられる棒

手順：

1. 場所を選ぶ
地面が平らで、できれば
2. ロープを張る
2本の木やポールの間
3. ブルーシートを掛ける



こちらが、ブルーシートで作るテントの設計図です。参考にしながら、楽しくテントを作ってみてください！

実際の生成AIに対する問いかけと回答



テント設営



野外炊事

詳しい様子はこちらより！



<https://youtu.be/Dd6hwVzddPU>

自然の家 公式動画(YouTube)
妙高ミミチャンネル



参加者の声

- 今回のキャンプでICTを使うことも大切だが、自分で行動することも大切だとわかった。
- 火おこしを最初は失敗したけど、「上手なたき火のコツ」というワードで調べ、その情報をもとに成功することができてうれしかった。

課題

- 「情報収集をする」ことよりも先に自分の持っているイメージで活動を始めてしまう参加者が多かった。もっと計画を立てる部分もサポートしてから参加者主体の活動に入れるとよかった。